

審 議 事 項 1

魅力ある市川市にするための提言

意 見 要 約

【 目 次 】

- 1.子育て支援策について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 2.健康・福祉対策について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 3.地域経済対策について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 4.ICTの活用について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 5.まちづくりについて
 - ◇都市基盤整備関連・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
 - ◇施策・事業関連・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- 6.協働について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- 7.若年層支援策について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- 8.行財政基盤の構築について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9

魅力ある市川市にするための提言

1. 子育て支援策について

①義務教育課程に限らず、高齢者の持つ知識や技術などを学校への人材とする学校支援の推進。またその逆に子ども達が地域で活躍できる場所創り。

②子育てしやすい市川市の実現

残念ながら市川市は、保育所が大きく不足しています。これでは若い人たちが、住みやすいとは思えません。何としても保育所を増やす必要があります。

しかし、公立をつくと将来費用が負担増となるので、建設し運営は民間に委託する方式で増やす。

③「人間尊重」「自然との共生」「協働による創造」の3つのキーワードを掲げた、市川市の基本理念、基本計画等は素晴らしい内容だと思います。しかし、絵に描いた餅の感じがするのは、その計画を誰がどうやって実施するのかという部分があやふやになっているからだと思います。

「子育て」の分野で先進的事例と挙げられている流山市、松戸市、浦安市と市川市の違いは「条例の有無」だと思います。

流山市は「子育てにやさしいまちづくり条例」を、松戸市は「協働のまちづくり条例」を平成19年に作っています。浦安市も市民参加推進条例を平成16年に作っています。この条例の中で市・市民・事業者・学校等の役割を明記しています。

松戸市や浦安市は、条例施行から3～5年たっているため見直しも行っています。この条例があるからという理由だけではないと思いますが、松戸市は今回の子ども・子育て新制度の地域子ども・子育て支援事業に新たに位置付けされた「利用者支援事業」のモデル事業を地域子育て支援拠点等（市民活動団体・事業者が運営）で実施し、全国的に事例として注目されています。

市川市も、市川市の子ども・子育て会議に先立ち、幼稚園・保育園・NPO・養成学校等が連携して「市民版いちかわ子ども・子育て会議」を立ち上げ、内閣府の「地方版子ども・子育て会議の取組事例に関する調査報告書」に取り上げられています。市民の意識や取組みをバックアップするためにも、条例を制定し、それぞれの役割

を整理し、効率よく、安心して活動ができるようにしてほしいです。

現在本庁舎建て替えのワークショップが行われていますが、その中で、もっと早い段階で市民の意見を集めて欲しい、もっと多くの人にわかりやすく説明をして欲しいという意見が出ています。条例があれば、後手後手にまわってしまったり、その場しのぎの対応になってしまう失敗は避けられるのではないのでしょうか。

④子育て世代に魅力ある子育て支援策を

13年4月1日現在の市川市の待機児童数は336人と県内54市町村で最多。保育所の新增設や保育士人材確保への支援などを急ぎ、改善を図る必要。

	待機児童数	常住人口 (25年4月)		待機児童数	常住人口 (25年4月)
千葉市	32	962,424	野田市	6	155,170
船橋市	227	612,549	我孫子市	0	131,948
松戸市	91	479,918	木更津市	10	130,811
市川市	336	468,318	成田市	6	129,784
柏市	117	404,949	鎌ヶ谷市	39	108,522
市原市	86	277,627	茂原市	0	90,832
八千代市	18	189,695	印西市	48	90,517
佐倉市	47	171,938	四街道市	36	88,621
流山市	57	167,699	君津市	0	87,804
習志野市	47	165,399	～	～	～
浦安市	82	162,489	県合計	1,340	6,184,553

出所：千葉県

⑤結婚が安心して出来る社会

仕事、住宅、子育てに関して

⑥安心して働けるまち；・特に女性の就労支援⇒さまざまな働き方やトラブルにも臨機応変に対応できる安価で多層的な保育施設の充実

2. 健康・福祉対策について

①介護をしながら仕事を継続出来る社会

在宅介護を進めるには介護をしている家族のケアーが必要、特に男性は介護のために退職し生活にも影響する。

②健康で明るい市川市づくり

病院は病気になってから行くところで、病気を予防するところではない。市民が病気にならないようにするのが地方公共団体の役目で、そうすることにより市民は明るくなり、医療費の増高も抑えることができる。そのため、健康増進センターを増やす必要がある。

3. 地域経済対策について

①起業家の事業紹介や市民交流の場を創り、市内外へPR。本業ではなくとも得意分野を社会貢献できる機会とする。

②物価が安く、こざれいで活気がある商店街や飲食街；モノの値段等でお得感を感じさせる店（東京や他市に行かなくても買い物したくなる）⇒競合、地域通貨・地域振興券

③税金や公共料金が安いまち、将来にツケをまわさないまち；（行財政改革などの別テーマ）

4. ICTの活用について

①魅力ある市川市にするための提言として、「安全、安心のためのICTの活用」を提案させていただきます。具体的には、産官学共同の市川コミュニティネットワークを構築・運用し、首都圏直下型、東南海沖地震にそなえるための仕組みをつくることで、市川市の安心安全なイメージづくりに貢献するとともに、平時にはそれぞれの市民ニーズのマッチングを行うことで、活気のある街づくりにICTを活用するという提案です。

詳しくは、別途PDFの資料を作成しましたのでご参照ください【資料編参照】。

5. まちづくりについて

《都市基盤整備関連》

①立地の良さを生かした若い世代に魅力ある街づくり

- ・特に、本八幡地区は13年9月に京成電鉄グループの本社移転や再開発により高層マンションが建設されるなど、高級住宅が形成され、エリア一体に賑わいが創出されている。都営新宿線の起終点になっているのも、若い世代に人気。
- ・賑わいの創出は、地価上昇の押し上げ要因となり、結果的に固定資産税の増収につながるるとともに、若い世代にも魅力を増し、街に活気が出てくる。
- ・市川市、浦安市、船橋市、習志野市の湾岸部では、物流施設用の土地が殆どなくなっていることもあり、物件の売り情報が出ると高値がつく状態。2～3年前までは考えられない価格で購入する先も出てきており、「市況が過熱しすぎている」との声もある。

<14年3月18日 国交省発表の公示地価>

千葉県内市区町村別平均変動率順位

(単位:%)

	全用途	住宅地	商業地	工業地
1	君津市(3.1)	君津市(3.4)	君津市(3.1)	市川市(3.4)
2	木更津市(1.9)	木更津市(2.3)	船橋市(1.8)	浦安市(2.7)
3	船橋市(1.4)	習志野市(1.6)	稲毛区(1.8)	柏市(2.6)
4	習志野市(1.4)	船橋市(1.3)	市川市(1.7)	船橋市(1.6)
5	市川市(1.2)	稲毛区(1.0)	木更津市(1.2)	美浜区(0.5)
県全体	0.1	0.0	0.3	0.4

<参考 6位 市川市(1.0)>

②外環道全面開通効果を市川市の活性化に活かす

- ・千葉県区間は、市川市高谷から松戸市小山(こやま)に至る12.1 km。完成は当初計画の2015年度から遅れて2017年度の予定。
- ・国交省の調査によれば、県道の市川松戸線、松戸原木線、市川柏線等の交通渋滞が激しく、特に、市川松戸線では渋滞損失時間は全国平均の10倍近くに達する。
- ・外環道全面開通により、市川松戸線の渋滞損失時間は約8割削減されるので、それだけで市川市の交通インフラ魅力は大きく向上する。
- ・計画では、外環道の市川北IC付近に道の駅が建設されるので、周辺住民や外環道利用者の交流拠点として、魅力を高めるチャンス。

- ③利便性の高い道路；・渋滞（特に南北間）が発生しにくい道路づくり⇒京成線との立体交差推進（早く計画し働きかけないと何時までたってもできない）。右折レーンや時差式信号の整備
- ④公園整備、町の緑化；・埃や泥だらけにならない公園（球技や幼児の遊びには適しても、やすらげない）⇒芝生化など。花は良い試みだが、樹木は黒松以外も考慮してほしい。
- ⑤適切なゴミ処理・下水処理と洪水対策←一部地域や大雨時以外は改善されてきたと思うが。
- ⑥公共施設の計画的な改修・整備・必要に応じた統廃合；・（豪華なものはないがバラマキ・予算不足で整備が行き届かないものは使い勝手も印象も悪い。）
⇒前回答申

《施策・事業関連》

- ①大学・高校と自治会等が連携し、地域の空き家を利用した店や作業所など。
- ②空家の利用
市内には空家が多く防犯面でも不安です。条例が施行されても現状はそのままです。手直しをし、シェアハウスとして利用する。
- ③安心・安全なまち；・防犯⇒町内会や学校等を通じた住民意識の向上。防犯灯・防犯カメラの整備）、・交通安全⇒教育や取締による交通モラル維持、歩道の分離など
- ④メリハリある都市空間；・良好な住宅環境の維持⇒建築基準の厳守、空家や不良建造物の排除（固定資産税制の見直し）　・中心街の活性化⇒建築条件（容積率等）の緩和

⑤神輿のまち「行徳」をPR

(1) 背景

行徳は戦国時代から、戦の必需品である「塩」づくりが盛んでした。特に徳川幕府時代では、莫大な開発費と運営費が、行徳の地に降りたと伝えられております。

塩産業を軸に、行徳は古くから海苔や魚介類に代表されるように、江戸時代から漁業・農業が栄えた土地だけでなく、成田街道の入口として、人や物の交流が盛んとなり、宿場まち・港まちとして栄えた地域でした。

自然の恵みで豊かになった人々は、その恩恵に感謝し、神社やお寺を建造するために惜しみないお布施を出し、全国にも類を見ない、神社仏閣のまちとして今もなお、その伝統的芸術を世に送りだしております。

(2) 希少な伝統

その「匠と技」を活かして、行徳には伝統的な宮大工の真髓が生成され、その技術の集約と象徴として、『神輿づくり』が盛んになり、全国にも類を見ない神輿の発祥の地として有名になりました。神輿のおいては、実に全国の4割が行徳の神輿といわれておりますが、意外や地元の人々に知られていないのが現状です。特に近郊では、浅草、鳥越、神田、佃、深川、浦安等々、有名なまつりの随所に、行徳の神輿が存在しております。

行徳を代表する神輿屋は、後藤・浅子・中台の御三家がありましたが、今や中台製作所だけで、その貴重な伝統芸術を後世まで残そうと孤軍奮闘しております。

(3) 温故知新と新旧融合

今や行徳の繁栄も、豊かな漁場や秋の収穫という一次産業から、今では首都圏のベッドタウンとして、サービス産業に移管されました。しかし利便性が高い地域ゆえ、あまりにも急進的な発展と人口増加の中で、新旧市民の交流や、伝統と歴史のまち「行徳」が、地元市民に知られていないことも否めません。

本年、市政80周年を迎え。また第10回目の開催となる「行徳まつり」実行委員会との協働の元、市民が融合し、新たな市川市のまちづくりを、皆の手でつくり上げてゆくときです。

(4) 具体的な活動として

東西線「行徳、南行徳、妙典」各駅には、「ようこそ神輿のまち『行徳』へ」という横断幕を東京メトロの協力の元、掲げます。特に人口流動率の高い行徳地区において、新しく流入する市民に対して誰しもが思う「なに？これ？みこし？」をトリガーに、CIを高めるきっかけづくりを仕掛けます。さらに、神輿のモニュメントや屋号（または氏名）が記名された提灯を駅前公園（行政管轄内）に掲げます。

資金としては、多くの市民からの寄付を募り、完成のあかつきに帰属意識（活動に参加）を高めることが大事ですが、このようなケースの多くは企業の協賛なくしては、カタチになりません。この点については、行政協働の元で行われることが基本です。

6. 協働について

①年代や使い方を限定した場所ではなく、NPO団体でも地域の一人でも誰もが立ち寄ることができる居場所創り。

7. 若年層支援策について

①高齢化が進むにつれて、有効票数に占める割合の低下により、若者世代（10代～30代？）の意志が行政に反映されにくくなりつつあります。それにより高齢者優先の行政になり、市川市からの若者離れが進み、さらに高齢化が加速するという悪循環に陥る恐れがあります。それを回避するためには、出産・育児支援、若者の就業支援といった個別の政策の充実だけでなく、若者世代の意志が行政全般に反映されやすい仕組みを、選挙→市議会というルートとは別に確保する必要があるように思います。例えば以下のような方法が考えられます。

- ・市役所内の各部署に、20代30代の職員のみから構成されるタスクフォースを形成し、部署内の案件について必ず若者世代の見地から意見する制度を作る。
- ・同時に、市役所内を横断して若者世代の利害を集約する組織を設置する（現状は、子育てや教育、労働などの各部署に分断されている）。
- ・市政戦略会議のように市民や有権者から意見を取り入れる際も、極力世代のバランスが均等になるようにあえて工夫する。

以上のいわば若者世代のアフーマティブ・アクションは、実年齢が 20 代 30 代でなくとも、それらの世代の利害の立場に立って考え意見することを事前に決めておけば、誰でも務めうると思います。特に 10 代以下については、別の年齢の人があえて代表する必要があります。特に行財政改革については、あえて若者世代・将来世代の見地から意見する役割の人が不可欠に思います。

市川市市政戦略会議への提言書

(市川市が魅力ある街として輝き続ける為の改革意見書)

《 総 括 》

1. 市川市が魅力ある都市として今後も生き残って行く為に、
為すべき改革についての意見書 1
2. 中小企業経営者から見た『国と地方自治体の行財政改革
の覚悟の必要性と処方箋』 2

《 参 考 資 料 》

- 資料 No. 1 : ① 日本国のカルテ (欧州で言われている悪口) 3
② 滅亡から祖国を救う為に、如何にすべきか！
- 資料 No. 2 : ① 「建議のテーマ」に関する意見の提出 4
② 「建議テーマ」の追加『行政の歳入確保策のご提言』
- 資料 No. 3 : ① 四つの金の使い方 (小さくて賢くて小回りの効く行政府づくり) 5
② 1960年 J.F.ケネディ氏の米国大統領就任演説の最後の一節
- 資料 No. 4 : ① 国民一人一人が経済破綻に備えよう！ (餓死はご免だ！) 6
- 資料 No. 5 : ① 元気！市川会第4 stage ビジョンと26年度活動方針 7
② 元気！市川会活動テーマ PDS フォロー表 (累計第100回)

市川市が魅力ある都市として今後もし生き残って行く為に、為すべき改革についての意見書

平成 26 年 5 月 2 日 市川市 市政戦略会議委員 田平和精

《総括》：市政戦略会議委員としての 4 年の任期終了を前に、遺言とも言わべき提言（市川市の街の魅力の向上、及び行政改革の推進）を以下に纏めます。 cf. 資料 No. 3

改革のテーマ	残存する未改革の諸問題	当面為すべき事
《政治家・有権者の努力》 行政改革のビジョン策定と、その実現の為に戦略、長期計画の策定実施	<ul style="list-style-type: none"> 将来への危機感が不足している為、現状の延長線上でしか、物事を考えられず、行政の無駄の削減が進んでいない。 他力本願となり、救世主が現れて助けてくれる幻想を抱き、社会保障費の膨張等の目前の諸問題の改革を先送りしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 30 年後の市川市の在るべき姿を求め、実現の為に中長期計画を着実に策定・実行していく。(例：市議数 42→14 名 1/3 化、市職員数 3400→1700 名 1/2 化) 甘い見通しを語り国民を茹で蛙とする政治家に投票せず、窮状を隠さずに正論を吐く政治家を当選させる。(例：予算増要求には、予算削減項目提案義務化)
《役人の身を切る努力》 地方公務員制度の小改革の積み重ねで、行革先進都市として市川市のイメージアップ	<ul style="list-style-type: none"> 出来ない理由を言い続けて何もせずとも、ワタリ制度で年収右肩上がりだと、真面目に働く意欲が公務員から失せていく。 行政がやがる必要の無い範囲まで行政サービス拡大した為、国債増発が続き、公務員を養う為の人員費・事業費が減らない。 	<ul style="list-style-type: none"> 出来ない理由を語る人・改革の足を引っ張る人罪を冷遇・降格し、改革に熱心で人間力溢れる人材を登用する。(例：公務員内部からの改革も必要) 公務員にスト権を認める代わりに、厳しい人事評価を実施して給与総額を抑制し、必要なら指名解雇も行える世論を醸成する。(例：公務員も自主努力要)
《民間の自助努力》 日本経済破綻を想定した諸準備に民間企業は着手し、社員と家族を守護する態勢を構築	<ul style="list-style-type: none"> 国家デフォルト宣言発令時に、無傷で居られる国民は居ないのに、その地獄から目を逸らして、安逸に耽る現状有り。 行政サービスを縮小すべきと、知識人は誰もが感じているにも拘らず、既得権勢力に遠慮して、大きな政府を続けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 抵抗勢力の妨害で改革が進まず、貨幣経済崩壊時に備えて、破綻せずに済む相対優位力を、企業・組織共に涵養する。(例：重心・損益分岐点の低減追求) 小さく賢くして小回りの効く行政造りの為、市民サービスを民間が引受け、街の魅力↑予算を確保可能な官民態勢を醸成する。(例：官業を民間が請負)
《産官学民連携の努力》 街づくり活動を広め、行政の効率化を進め、快適で便利で安全で情報豊かな街づくりを推進	<ul style="list-style-type: none"> 元氣！市川会等の街づくり組織活動前は、官民対話の場が無く、非効率な行政だったので、無駄な財政支出が多い。 地域間競争の要素とならない行政部門を、縮小・廃止するか行政から切り離さないで、無駄な財政支出が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全性↑：犯罪が割に合わない街づくり推進 (例：地域防犯カメラ増強) 快適性↑：駅周辺で買物・サービス享受可能 (例：コンパクトシティ化+緑地保全) 利便性↑：外環道、3・4・18 号線開通→交通渋滞↓ (例：バス専用レーン設置) 人魅力↑：地方税率を低減し、高所得者の移住を促し、財政力の向上 財政力↑：小さく賢くして小回りの効く行政造り (例：夕張と反対の見本化)

《地方税減税競争に備えて》：地方の駅前商店街がシャッター通り化する原因の一つは、固定資産税の高止まりです。地方自治体は人口増加・商業活性化の為に、ライバルより税率を下げて、住民を増やし本社を誘致すべきです。近い将来、地方税の切り下げ競争が始まる時に備えて、市川市の財政力強化酒養が大切です。

《死に至る病の宣告まで意識改革しないのか？！》：「この習慣を止めないと死にますよ！」と医者に言われて、初めて習慣を直すのではなく、将来を予測して、悪習慣を直すのが、真面目な良識人だと思います。我々が真面であるのならば、将来迫る危機を予測して、対策を探るべきだと考えます。

以上

中小企業経営者から見た『国と地方自治体の行財政改革の覚悟の必要性と処方箋』

平成 26 年 5 月 5 日 市川市 市政戦略会議 委員 田平和精

《比喩を用いた『行財政改革の必要性』》 cf. 資料 No.2, No.3, No.4, No.5

高度経済成長～財政規律崩壊前	財政規律崩壊～失われた20年～現在	健全化の為の処方箋
《行財政》：有り余る税収（パイ）の奪い合いで、行政が担う必要の無い分野まで行政サービス拡大	一旦手出した分野から手を引けず、既得権勢力への配慮から赤字国債を乱発し、財政は破綻寸前	《行政・国民の意識改革》：税収の分かきサービス出 来ない事を再確認し、小さく賢く小回りの効く 行政府を目指すべし！
《身体》：有り余る体力と金力に任せて、大食い 続け、胃袋が拡大し、肥満体となり成人病も発病	空腹感を訴える胃袋の要求に応えて、貧乏になっ ても借金を重ねて大食いし、財布も身体も破綻寸前	《体質改善》：厳しい自己節制か胃袋手術で小食に 耐えうる体質改善で、収入の身の丈に合った暮らし に変化すべし！
《経済政策》：ケインズ経済学説を限界無く実施し、 需要減少分野に借金によるバラマキを繰返し、借金 麻薬中毒が進行	選挙民の要求に応える為に、政治家はバラマキを繰 返し、通貨の信用不安から経済崩壊の不安現出	《経済政策改善》：経済崩壊は第二の敗戦と悟り、 国債発行の上限を速やかに制定し、通貨の信用を護 るべし！
《株式会社「日本」》：社長が社員の選挙で選ばれ る為、グータラ社員にも多額の給与支払いで、会社 経営は赤字が累積	グータラ社員の要求は留まる所を知らず、国家が破 綻しようが、自己の要求を押し通す亡国寸前の状況 が現出	《※「日本」の経営者の義務》：会社の危機を社員 に訴えて、入るを図りて出ざるを制し、会社存続の 為、グータラ社員はリストラゼざるを得ない！

《政治に経営感覚を求めれば、かく在るべき也?!》

- (1) 1945 年 8 月 15 日の終戦の詔勅の一部「…… しかも尚、抗戦を継続せんか、ついには我が民族の滅亡を招来するのみならず、……」に照らせば、現在のバラマキ政治は、「…… しかも尚、バラマキ政治を継続せんか、ついには我が国経済の破綻を招来するのみならず、……」という危機に在る事を知るべし。 **このままでは全国的にタ張市が続々誕生する。 その仲間に市川市は入るべきでなく、日本再生の見本となるべきである。**
- (2) 先の大戦での国民の死者 310 万人は、1945 年 3 月硫黄島玉砕時に降伏しておれば 100 万人が、1944 年 10 月レイテ沖海戦で連合艦隊主力喪失時に降伏しておれば 200 万人が死なずに済んだのに、軍部は戦争を継続した。これは国民の為にではなく、軍人としての職業を護りたい一心が「国体護持」を叫ばせ、国民を塗炭の苦しみに追い詰めた。この「軍部」を、「政治家・官僚・タックスイーター」と置き換えれば、現在の我が国のテイタラクが見えて来る。
- (3) アメリカの独立戦争は、納税を強いるなら選挙権を与えよ！から始まった。労働の対価としての給料同様に、納税の対価としての選挙権の善なのに、納税せざる人が、国民の権利を声高に主張する国家は滅ぶ運命に在ると思う。私は歴史で、「人間は税と死からは逃げられない」と教わったのだが……
- (4) 議論の時間は余り残っていない。 **財政再建しつつ国民の福祉を護るのか、経済破綻して国民が塗炭の苦しみを味わうのか、そのどちらかである。** そうなつた時に、隣国の中国・韓国・北朝鮮の喜ぶ姿を見たくないなら、改革の決断の下、麻薬中毒から脱皮して、財政再建をすべきだと確信する。 以上

建議：市川市における今後の行政サービスについて

審議事項1：魅力ある市川市にするための提言

◇少子高齢化の進展や住民ニーズの多様化等に対し、市政戦略会議各委員の専門的見地から、「街」としての魅力を高めるための様々な提言をするもの。

【例】

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 子育て支援策について | 2. 地域経済対策について |
| 3. 健康・福祉対策について | 4. ICTの活用について |
| 5. まちづくりについて | 6. 協働について |
| 7. 若年層支援策について | |

審議事項2：行財政改革に関する提言

◇厳しい財政状況に対応するための行財政基盤づくりに関して、これまでの総括的な提言、あるいは全く新しい視点から行財政改革についての提言をするもの。

【例】

8. 行財政基盤の構築について

※「審議事項2」については、第3回市政戦略会議において審議する予定。

資料1 《追加分》

審議事項1 魅力ある市川市にするための提言 意見要約

6. 協働について

1. 魅力ある市川市にするための提言

行財政改革大綱、第1次アクションプランにおいて、すべてのアクションプランに必要とされている改革の視点は①市民本位の行政、②行政資源配分の最適化、③新しい公共となっている。特に、③新しい公共は、民主党政権下において打ち立てられた概念ではあるが、現自民政権下においては、共助社会づくり※というキーワードとして、その意味するところは、両方とも同じ、行政がこれまで独占してきた公共を、民間も積極的に参画し、責任ある主体としてともに進めることを意味している。

※内閣府の共助社会づくり懇談会開催主旨

地域の活性化を図るとともに、全ての人々がその能力を社会で発揮できるよう下支えを進める共助社会をつくっていくためには、特定非営利活動法人等による地域の絆を活かした共助の活動が重要となってくる。このような活動の推進に必要な政策課題の分析と支援策の検討を行う場として、共助社会づくり懇談会を開催する。

内閣府HPより <https://www.npo-homepage.go.jp/data/report33.html>

市川市において、それぞれの個別施策はあるものの、そもそも、その改革の視点の三番目になっている、新しい公共の担い手との協力、連携、協働、参画等について、条例による定めがない。そのため、市民からさまざまによいアイデアがでてきたとしても、現状では、市川市が設置したそれぞれの委員会に委員として公募をし、選ばれるか、意見書をまとめるなど、一市民にとっては大変にハードルの高い作業を超えなければ、市政に対して責任を持った参画をすることが出来ない。そこで、選挙民、納税者としての責任ある市政参加を超え、共に市政を作り上げる市民としての条例づくりを提案したい。

以下、参考になる事例について列挙する

条例の内容として参考になるもの

◇規模や内容として

狛江市、川崎市、大和市

◇鳥取県（鳥取力創造ガイドライン）

<http://www.pref.tottori.lg.jp/223282.htm>

◇都道府県、政令指定都市の条例の一覧は、日本NPOセンターの以下のページでご覧いただけます。

http://www.jnpoc.ne.jp/download/research_2_1-SupportLow.pdf

◇条例づくりの手法として

大和市

<http://www.city.yamato.lg.jp/web/katudo/suisinkaigi.html>

◇条例づくりの方法として、地域円卓会議方式（マルチステークホルダープロセス）をお勧めしたい。

地域円卓会議のススメ

<http://sustainability.go.jp/forum/projects/index.html>

審議事項1

魅力ある市川市にするための提言

資料編

防災、減災、地域活性化のための ネットワーク構築の提案

- iCAN (ichikawa Community Area Network)

- 平時

- 「産官学」情報交換用ネットワーク
 - 産: コマーシャル、アルバイト情報
 - 官: 電子政府、市政だより、防犯情報
 - 学: 学校のイベント、公開講座
 - 他: 迷い猫、犬などの「探しています」「保護しています」情報

- 有事

- 防災、減災ネットワーク
 - 避難所(学校など)と行政組織を直結するネットワーク
- 首都圏直下型地震/東海・東南海・南海連動型地震への備え

1995年(平成7年)1月17日・阪神淡路大震災



- 防災、減災のための情報発信の重要性
- 日本のインターネットの黎明期
 - 神戸市役所、神戸市外語大の協同実験中
- 耐故障性：インターネットの特性
 1. 1995年1月17日未明 震災発生
 2. 18日未明、HTML完成、サーバーの準備が完了
 3. 18日午前10時ごろ、SINET回復
 4. 18日午前11時、WWWサーバー稼働
 5. 18日午後4時20分、大阪大―神戸大の間で1Mbps回線による通信が復旧
 6. 21日午後6時10分、神戸大―神戸市外大の回線を192Kbpsから1.5Mbpsに増強

2011年(平成23年)3月11日・東日本大震災

- 市川市役所と千葉商科大学との連携が図れなかった理由
 - 計画停電
 - 共同実験終了にともない、人的、物理的資源の連携が分断
 - ネットワークポロジの問題
 - ほとんどすべての接続は東京都を經由している

2008年「どこでも市長室」：生きた行政を首長に学ぶ



市川市防災担当者

公民館に避難している人々

付属高校に避難している人々

千葉商大で点呼をとってそれを
行政に報告している人

～特集 ネットワークによる三点中継授業のレポート～
7月4日(金) 12:35 ~ START!!!
放送時間：1号館 1階・3号館 1階・7号館地下
この放送は1号館1階スタジオから放送しています

□ [第3回 WHO健康都市連合国際大会](#)における無線LAN利用案内ビデオ □

2008年10月26日に開催されたWHO国際大会参加者向け、本学無線LAN環境の利用ガイド映像。IT社会基盤コースの技術協力のもと、日・英・中の三ヶ国語版が用意され、大会当日に1号館内で放映されました。



日本語版 (4分46秒)



英語版 (4分48秒)



中国語版 (3分25秒)

iCANの考え方

- 日常的な運用
 - 通常使っていないものが有事に使えるわけがない
 - 日常の運用だけでも有用性を確保
 - 無理のない協同
 - 産官学それぞれの立場を尊重
 - 低コストでの構築、運用
- 技術の進歩を継続的にフォロー
 - 携帯端末、有線・無線、公衆回線
 - SNSなどの活用
 - 研究会の必要性
- 物理的な通信線の確保
 - トポロジ、電源
 - 動的な変更能耐えうる設計



日本国のカルテ（欧州で言われている悪口）

平成 15 年 1 月 1 日 日経新聞

《病名》

日本病 Nipponensis

《病根の症状と対策》

病根	症状	対策
先送り中毒症	口先ばかりで、改革を実行できない	動けば先が見える→実行
前例依存症	システムが硬直化し、飛躍の芽を摘む	システム作り直しを常に覚悟
危機意識欠乏症	事態認識が甘く、政策・戦略が不十分	使命・ビジョン・戦略→実行
リスク過敏症	失敗を恐れ、成長分野が育たない	失敗時→撤退し本業回帰

仕事に魂を込め、毎日を楽しくし、人生・運命を好転させよう！

出来ない理由を十考えるより、出来ることを一つ実行しよう！

幸せは天から降って来ない。自分で切り開き、育てていこう！

平成22年4月22日 市川ビル商店会長

滅亡から祖国を救う為、如何に為すべきか！

『世論を指導すること。』

指導者は民に行くべき道を示す者であって、

民に従う者ではない。』

『国の統一を保つこと。』

国民とは同じ船に乗り合わせた客である。

船が難破すれば、全員が死ぬのだ。』

『祖国統一を攪乱しようとする思想から青年を守ることに。』

祖国を守る為努力しない国民は自殺するのに等しい。』

1940年フランス敗戦、カナダへ亡命中の船中で記す。

(アンドレ・モーロワ)

「建議テーマ」の追加『行政の歳入確保策のご提言』

平成 26 年 3 月 27 日 市政戦略会議委員 田平和情

前略

市川市の歳入確保策の、個別具体的アイデアを以前にご提出致しましたが、改めて、建議テーマとして、追加ご提案致します。 執念を持って考えれば無限のアイデアが出来ます！

草々

―― 言 記 ――

《直ぐに有料化・使用料アップを図るべき事項》

- ① 救急車の有料化
(出動 1 回で最低 1 万円＋タクシー料金の 5 倍程度は取るべし！)
- ② 応募者の多い時のザワーズウエスト 4 5 F 展望台の入場料金
(初日の出参拝、花火大会、他)
- ③ 動植物園の入場料金の値上げ⇒将来的には行政が手を引く方向で検討すべきと考えます。
(無料の博物館入場者と称して、騙されない工夫必要！)
- ④ 市役所所有の無料バス
(出動 1 回で最低 1 万円＋せめてガソリン代位は取るべし！)
- ⑤ 花火大会の観客席の拡大
(比較的、抵抗は少ないと思料！)
- ⑥ 駅周辺のバイク・自転車の駐輪場の管理費見直し⇒当戦略会議でも提言しています。
(市川駅北口の第④駐輪場は、現行法適用でも、1000 円→1500 円に値上げ可能！)
(他に、無料のバイク・自転車置き場が多数有り→有料化すべし！)
- ⑦ 施設の会場使用料の全面見直し⇒当戦略会議でも提言しています。
(公民館、アイリンクホール、他)

《費用削減の結果として得られる戦略的な増収策》⇒前報と一部重複しています。

- ① 証明書発行などの費用の改善
(無人の機械でセルフサービスの場合は、現在の半額とし、有人サービスの倍額とする！)
→この結果、有人サービスの利用者は減少し、窓口配置要員が削減可能となり結果的に増収！
- ② 管理職の拡大
(副主幹以上は管理職として、時間外手当の対象外とする！)
- ③ 部課の統合(行政として必要最小限の部課に圧縮)・一人二役化
(of. 消防局、選挙管理委員会……と義務を限定せず他の事務職兼務、部課数の半減化)
- ④ 俸給表の見直し
(50 歳以上の職員は右肩下がりを基調とする！⇨停年延長を睨んで！)
- ⑤ 市議会の効率化
(委員会制度の拡充で、議員・市特別職・部長 80 名が一堂に会する時間の縮減)
- ⑥ 外郭団体の効率化
(天下り組織の洗い出しと統合・効率化)

以上

「建議のテーマ」に関する意見の提出 委員名 (田平 和情)

平成 26 年 4 月～9 月の審議について、「建議のテーマ」に関するご意見を募集いたします。 市政戦略会議条
例に記載されており、「本市の重要施策に関する事項及び行財政改革の推進に関する事項」であれば、内容
は問いません。 忌憚なきご意見をお寄せいただければと思います。

《建議のテーマ》

行財政改革に関しての多くの課題の中、下記 5 点について建議致したく提案します。

1. 行政の外郭団体の統合整理(小さく賢くして小回りの効く行政府創り)
 - ① 外郭組織改革：赤字≧1 億円/年の外郭団体を列挙して、改革の PDCA 実施
 - ② 行政活動内容のスリム化：行政が手を出す必要のない分野からの大胆な撤退
 2. 議会運営の見直し(議会開催期間中の行政活動の停滞改善)
 - ① IT 導入：議員と市職員幹部 70 名が議場で会議せず、ネット質問・回答に変更
 - ② 重要議題のみ議場で討論：ネット回答で収まらない課題に絞って議場で審議
 3. 人事制度の改革(人財登用(給)と人在・人罪の冷遇(鞭)使い分け)
 - ① 年功序列制度の改善：定年間際に部長に昇進しても、改革に不熱心な現状改革
 - ② 職員数削減継続：組織統廃合、多能化・少数精鋭化追求により、労働生産性向上
 4. 俸給制度の改革(国家公務員・民間に較べて高過ぎる給与の是正)
 - ① 給与総額見直し：部課長・主幹は兎も角、副主幹以下の俸給が高過ぎる現状改革
 - ② 給与表見直し：定年まで年収右肩上りの現状を民間並み 45～50 歳ピークに是正
 5. 予算枠シーリング(予算の経常収支比率▲1%/年低減を義務化)
 - ① 既存事業の改廃を強制：前年踏襲の慣性の法則が働かぬよう予算面で改廃を強制
 - ② 人件費率の削減：予算に占める人件費の削減計画を立てて、要員効率化を強制
- 《提案理由》：現在の議会・公務員制度は、時代の要請に添えておらず、日本経済を
停滞させています。 これを、市川市が先頭に立って変えていくべきだと考えます。

◇提出期限：3 月 27 日(木)
◇提出方法：メールまたは FAX にてご提出ください。
【お問い合わせ】 行財政改革推進課 高久、松本、大平 047-334-1105 (直通)

資料 No. 3

小さくて、賢くて、小回りの効く（＝生産性・効率性・経済性の高い）行政府づくりが肝要です！

参考文献 《 四 つ の 金 の 使 い 方 》 （ミルトン・フリードマン：1976年ノーベル経済学賞）

		お金の使い道	
		I 自分の為に使う	II 他人（ひと）の為に使う
お金の出所	A 自分のお金を出す	A-I 自分のお金を自分の為に使う時 節約と効率の原理が働く ☞ 使い道については多少恥ずかしい事があっても、良心に背かぬ行動なら許される	A-II 自分のお金を他人（ひと）の為に使う時 節約の原理は働くが、効率への配慮は薄くなる ☞ 相手が犯罪者でない限り、全く良心に傷みは無いし、寧ろ誇りにして良い
	B 他人からお金を集める	B-I 他人（ひと）のお金を自分の為に使う時 専ら効率を考えるが、節約への配慮は無い ☞ 通常の人なら恥ずかしいし、良心的にも痛みを覚える	B-II 他人（ひと）のお金を他人（ひと）の為に使う時 節約も効率も考えない ☞ 虚栄心を増長させ、それにつれて良心も麻痺してくる

《例1》：個人A氏が、困窮している個人B氏を援助する時、節約と効率の原則が働き、B氏も立ち直った暁にA氏に報恩したくなります。
《現実》：行政が困窮中と主張する個人B氏を援助する時、節約と効率の原則が働かず、B氏は立ち直っても納税者に報恩する等考えません。

権力を伴う政府組織では、必要経費の全てが、強権を行使して安易に取立て出来る税金や、その他の諸々の賦課金によって賄われます。国民福祉の為と言っても、それは全く他人の金で善行＝奉仕であって、「自分の（組織の）為に使う」という衝動から逃げられません。国益→省益優先（厚労省、外務省）国益→党益→政治家益・役人益優先・自分の任期中、大過なく、格好よく過ごし、税金を食う現状が在ります。

だから役人天国で、何処の国も役人の数は増加の一途で減らず、GDPの2倍の国の借金の尻拭いの被害を受けるのは、結局は納税者です。今やギリシャを始め世界中何処の国でも、行政組織の道徳は崩壊しています。→ 市戦略会議の委員はそう考えて、戦略を立てましょう！

《結論1》：タック・スイーター（食税者）を減らし、タックスペイヤー（納税者）を増やさないと、国家も市川市の財政も破綻します！
《結論2》：行政サービスを「必要不可欠な分野」に圧縮して、市民サービスは、節約と効率の原理が働く市民にお返ししましょう！
《結論3》：小組織・民間ほど自律性が働きます！→原則『官から民へ！』大きな政府→小さくて賢くて効率良い行政府を作りましょう！

And so, my fellow Americans :

Ask not What your country can do for you !

Ask What you can do for your country !

My fellow citizens of the world :

Ask not What America will do for you,

but What together we can do for the freedom of the man!

By J.F.Kennedy in 1960

そして、親愛なるアメリカ国民諸君、
貴方の国が、貴方に何が出来るのかを問う勿れ！
貴方が、貴方の国に何が出来るのかを問うべし！

資料 No.4

国民一人一人が経済破綻に備えよう！（餓死はご免だ！）

平成 26 年 5 月 7 日 ㈱市川ビル 田平和精

（日本の現状に対する危機）

69 年前の 1945 年、連合国「米英ソ中」に、コテンパンにやっつけられて、焦土と化した我が祖国と日本国民が、（精神の事はさておいて、）物質的にやっとなり立ち直り、世界の一流経済国になったと思ったら、今度は、義務を果たさず、権利のみ主張する風潮「過度の個人主義・悪い社会主義への凋落」が原因で、「第二の敗戦（借金返済不能→国家財政破綻→貨幣経済崩壊→大恐慌→全国民の困窮！）」を迎えようとしている。

現在、日本国民であり、この国の首都圏の駅前で、小さな企業の社長を務めている私は、本件は非常に困った事で、何とかならないかと切齒扼腕している結果、夢にまで出て来る。

自己の責任であろうと無かろうと、国が破綻すればお金の循環が停止し、企業も大打撃を受け破綻しかねない。貨幣経済の崩壊で、国民一人一人がその日の飯にも困り、道徳は崩壊し犯罪が増加し、「世界から憐れまれる存在」と成り下がり、中国・韓国・北朝鮮は、「ザマーミロ！」と大喜びするだろう。

（セウオル号の悲劇は他人事に非ず）

現在、我が国の産官民で構成する「貨客船 日本丸」は、船腹からの浸水が続き傾き始めている。

本来は、乗員乗客が力を合わせて、船腹の穴を塞ぎ、態勢を立て直すべきなのだが、残念ながら、乗員・乗客に危機感が乏しく、浸水量が徐々に増加して、オリンピック終了後には沈没する（＝通貨「円」が信頼されなくなり、ハイパーインフレーションに陥る）恐れが強くなっている。

（国・地方自治体の財政立て直し）

- 日本国家の復興方法は、現状が麻薬中毒である事を自覚して、痛みに耐えて改革するしかない。それは
- ① タックスイーター・金食い虫を減らし、タックスペイヤー・納税源を増やす。
 - ② 年金受給者が労働した時、年金を減額せず、年収が増える制度を採用して、労働者数を減らさない。
 - ③ 公共が担う必要の無いサービス制度を、廃止するか、民間に開放する。
 - ④ 小さくて、賢くて、効率的な行政府・地方自治体を作り、義務的経費を減少させる。

（借金頼みで豊かな暮らしの麻薬中毒からの蘇生方策） その為には、どうすれば良いのか？

- (1) **国民の意識改革**：何でも国・官に頼らず、自助努力でビジネスや生活をする事が立派な事と認識する。
各地域に「小さな公」を再興し、所謂「ドブ掘え」等の事業は町内会で行う仕組を再開する。
- (2) **マスコミの変革**：事が起きても官を苛めず、自助努力でビジネスや生活をする事が立派な事と宣伝する。
弱者偏重を変えて、真面目に働いて、きちんと税金を払っている人を褒める風潮に変換する。
- (3) **低労働生産性業務の縮小**：能率の低い官が受け持つサービス業務を、絶対必要な部分に減少させる。
公務員にスト権を認める代わりに、俸給制度を全面改訂し、可能な部門は極力民営化する。
- (4) **死生観の変革**：「生ける屍」としての生存は恥と国民が意識変革し、「欣求 PPK ピンピソコリ」を推奨する。
一定期間以上の社会的入院者の医療費は、本人・家族負担率を上昇させ、「安楽死制度」を認める。

（経済破綻時でも、自分の周りの人を飢えさせない準備）

改革を阻む人達は、現行制度で得をしている既得権獲得階層である。彼等の為に一緒に地獄行きはご免だ！
国家が破綻しても、企業経営者は社員とその家族の生活を守る義務が在る。従って嫌われるのを承知で「既得権に固執し、改革を阻む階層」を糾弾し、改革を進める政治勢力を応援するしかない。

歴史は、既得権勢力が「自ら自主的にその権力を放棄する事は無い！」事を教えている。権力は経済が破綻した結果、国民が飢え、多くの血を流した挙句、革命という形で移行する事を歴史は教える。

地獄を見ないと、我が国民は目覚めないのだろうか？ その時に備えなければならない！ 以上

元気！市川会 第4 stage ビジョンと 26 年度活動方針

平成 26 年 3 月 18 日 元気！市川会代表

「元気！市川会(第4ステージ)のビジョン&活動基本方針」 『千葉県 玄関口として、風格・賑わい・活気溢れる街づくりの推進』

「基本方針」 当会参画の各階層が街づくりビジョン(安全で、快適で、便利で、情報豊かで、活気と緑が溢れ、賑やかで、面白く、市民が誇れる街)実現に繋がるテーマを発掘し、お互いのWin~Winの関係が発展する共通目標(地域の大義)にレベルアップさせ、実現の為に協働を盟約し、行政や他力に一方的に頼らず、街づくりの利害関係や想いが強い階層・組織を中心に、資金の工面を行い、会員組織のみならず貢献意欲の高い地域産官学民の仲間の支援を求め、PDSサイクルを回し、続けて目標を達成し、「街を『つくる』『そだてる』『再生する』」を実行する。

「活動方針」 街づくり協定書を改訂し、上記ビジョン実現の為に、実行機運の盛り上がったテーマから順に、費用対効果に配慮しつつ、活動を展開していく。

第4ステージビジョン達成の為に活動基本方針	平成26年度活動項目	活動を進める上で配慮すべきポイント
1 街の魅力が向上する活動の方針 イ) 駅広シェルター・周辺舗道クリーニング・美観維持 ロ) 駅広・駅周辺道路のLED装飾→街の魅力向上 ハ) 駅周辺地域の地域防犯カメラ保守・使い勝手向上 ニ) 1%市民税獲得(狙い:活動資金獲得、当会の宣伝) ホ) 駅周辺駐輪+交通マナー問題の改善→街の魅力向上 ヘ) 駅周辺歩道上の歩行者の安全確保→街の魅力向上 ト) 駅周辺の行政施策の質(=費用対効果)の向上 チ) 飲酒運転追放市川駅真間駅地域連絡協議会と協働 リ) 窃盗(=万引)撲滅市川駅周辺店舗協議会と協働 ス) ガーデニングシティの活動を市川駅周辺に協働展開	1 街の魅力が向上する活動 イ) 秋に有志企業の協賛で方法を工夫しつつ実行 ロ) 商店会・有志企業協賛で弾力的に実行 ハ) 官の保守分担外のカメラ・録画機の点検保守実施 ニ) 60万円の獲得額を目標として効率的に活動 ホ) 官民連携して自転車と共生する街づくり推進 ヘ) 啓発の為に旗・旗・ポスターの保守&更新 ト) 駐輪+自転車運転マナー向上施策の効率化・費用削減 チ) 飲酒事故の悲惨例の刷込み継続→意識改革！ リ) 元気店が先行し、一点突破・水平展開を実施 ス) 北口駅広を当会の「ゲート」と見做し魅力向上に貢献	1 街の魅力向上活動のポイント イ) 一般市民への当会活動と協賛企業のご紹介 ロ) 増灯・保守費は受益者負担、被害者救済に期待 ハ) 犯罪発生時の迅速・簡易調査可能な態勢整備 ニ) 浮動票に期待せず、今年も組織型集票活動を展開 ホ) 大型LED・スピーカー・ポスター・幟で市民啓発継続 ヘ) 26年1月~第3次自転車運転マナー向上活動再開 ト) 駐輪場管理・駐輪指導の行政コスト削減に協力 チ) 市川警察署交通課・協議会幹部と協働推進 リ) 市川署・同生活安全課ご支援の下 PDS サイクル回し ス) 駅南北が「ゲート」ボランテア企業募集→独り立ち↑
2 街の魅力が向上する設備の運転・保守の方針 イ) 駐輪+自転車マナー向上の為に幟・旗・ポスターの作成掲出 ロ) 地域情報放送で、防犯心掛け↑・運転マナー↑継続 ハ) ウェルカムボードの運転で、歓迎+啓発↑を継続 ニ) 地域防犯カメラの適正点検・保守で犯罪発生を抑止	2 街の魅力向上の建設テーマ イ) 駐輪+マナー向上指導員とWin~Win関係維持 ロ) 市民のマナー・意識啓発を効率的に継続 ハ) 歓迎メッセージ+交通・市民マナー意識の向上・啓発 ニ) 2回/年の点検・保守実施、補修はマナーに委嘱	2 街の魅力向上設備の運転・保守のポイント イ) 駐輪指導員等との協働+恵方巻イベント継続 ロ) 放送継続→各階層のニーズを放送内容に反映 ハ) 放送継続→市民ニーズを機動的に内容に反映 ニ) 保守が行き届かない防犯カメラの点検保守を当会請負
3 街づくり戦略の方針 A) 行政との良好な関係→経営資源出し合い街の魅力↑ B) マスコミとの良好な関係→街の魅力向上情報発信 C) 変化に対応した活動目標の柔軟な変更	3 街づくり戦略の活動 A) 行政経営の好転に繋がるWin~Win施策実施 B) 定期的な情報発信+マスコミとWin~Win関係 C) 市長方針「英敗を恐れるな！」→実地体験に協力	3 街づくり戦略のポイント A) 駐輪経営の赤字脱却、南口建物管理改善活動 B) 行政・警察・地域マスコミと協働して情報発信継続 C) 行政幹部との人脈作り、市民の目線学習を支援

「進め方」: 上記の活動項目別に、必要な概略予算を計上し、利害関係の強い組織を中心に、受益者負担の原則でご負担を求め、改善必要予算を確保していく。
 当会の存続は、街の魅力の維持・向上の為に、極めて有益であるとの認識と自覚の下に、焦らず、着々と実績を積み上げていく事を心掛ける。

以上

資料 No.5

元気！市川会 第4ステージ 活動テーマPDSフォロー表 (累計100・第4stage13)

平成 26 年 3 月 18 日 元気！市川会 事務局

課題・活動項目	活動の進め方・既往の成果	今年度の課題・留意点	関係課
1「 <u>シェルター・舗道の洗浄・清掃で駅広の美化</u> 」 街づくり協定→当会有志の費用負担で屋根洗浄清掃塗装	①資金拠出:京成バス、タクシー業界、市川ビル 各1/3負担 ②2008年~駅広屋根・舗道の洗浄→汚れ除去・美観継続	①街づくり会がシェルター保守:市川の誇り、②北口駅広:屋根・舗道:京葉PEが美化・保守工事12月に完了、③今年も実施予定	道路安全 街づくり
2「 <u>駅広・周辺道路のLED装飾で街の魅力向上</u> 」 官民協働で、通期・週末限定で駅広LED装飾実施	①2007年~元気！市川会参画組織協働装飾、②LED増灯:0.9→3→4弱→4万強③突風漏電判定→保守コスト↓努力	①シェルター蛍光灯・LED 総点検+取換、②受益者負担で東側100万円投資、③社会実験1・2継続、③3月~金土曜夜点灯	道庁安全 街づくり
3「 <u>既設の地域防犯カメラの適正保全・使い勝手向上</u> 」 当会の代名詞的事業、駅周辺地域防犯カメラ建設・保守	①地域防犯カメラ5+25+3+7=37基当会建設→官民60基 ②防犯カメラ増強は犯罪抑止に有効→③当会主催で継続	①官民協定:機器年2回保守・録画タイマ-10~14日②防犯カメラ一覧表作成③画像フォーマット簡素化、チェック用パソコン購入貸与	警察署 防犯課
4「 <u>1%市民税獲得活動で元気！市川会資金獲得↑</u> 」 7年間累計:支援者数2,200名、交付金額約360万円	①地域に知られていない当会活動を口コミで宣伝 ②元気！市川会 年間活動計画書・報告書→宣伝に利用	①大組織(タクシー・バス・タクシー・警察・他)・友人(RC)頼み②当会宣伝:ガーデニング水遣り機にポスター掲載、③バスラッピング3月末~開始	NPOホラ 街づくり
5「 <u>民間駐輪場↑歩道自転車置場廃止→フォロー</u> 」 官民努力で駅周辺駐輪容量↑→歩道内駐輪禁止徹底	①官民連携し2009年迄に南北合計で駐輪場増強↑750台 ②歩道内駐輪場廃止→星間駅駐輪場2ヶ所:市民教育完了	①17時~無法駐輪対策、②駐輪禁止看板↑、③官民協議・協働:街頭啓発活動開始:1/30、2/26、3/7→効果大④4月~方針	自転車対 策課+他
6「 <u>歩道内自転車運転マナー向上→歩行者安全確保</u> 」 歩道の歩行者安全↑の為に、自転車マナー↑を推進	既往活動:①啓発ポスター②自転車条例③パトロールプロジェクト 冬春活動:①幟80本+標54本、②街頭指導、③縦割改善	①1/23~第3次マナー運動↑、②幟50準備、標50配布済、③重点目標:信号待ち歩行者保護、夜間不法駐輪排除→効果発現	警察署 交通計画
7「 <u>駅周辺の行政施策の品質(=費用対効果)向上</u> 」 官・民の連携で、行政施策の費用対効果・品質向上	①各階層のニーズ・カウチ→地域の大義化→事業を協働実施 ②産官学民の強みの合力↑③Eコマース・新しい公共	①夕刻違法駐輪対策:協力業者当初非協力→②組織無駄多し ③市民マナー↑交通・駐輪マナー↑5業者統合→行財政改革提案	行革推進 街づくり
8「 <u>飲酒運転追放 市川駅・真間駅周辺地域協議会</u> 」 H19年発足、官民協働で加害者↑+被害者↓追求	①19年市川警察署主導で発足、その後組織拡大 ②警察主催の講演会・イベント等で泥酔体験コーナー活用	①当会:ビジョン共有化協働→警察署との信頼関係↑②駅広放送:飲酒運転追放訴求、③警察署交通課協働、3/7協議会開催	警察署 交通計画
9「 <u>「ウェルカムボード」地域情報放送設備管理運営</u> 」 街の来訪者に歓迎・挨拶、市民啓発→協働し街の魅力↑	①目的:交通マナー啓発・防災・防犯↑団体等のイベント盛上 ②民間建設→行政寄付→管理請負、③2010年~放送継続	①管理協定遵守、②市民意識啓発継続、③商店街放送音量↓ ④放送継続→街の魅力↑、⑤LED一部故障→修繕手配中	道路管理 街づくり
10「 <u>窃盗(=万引)撲滅市川駅周辺店舗協議会と協働</u> 」 駅周辺の店が警察署・防犯課と協働し万引抑止を追求	①2011年1月~市川警察署長ご指導→活動開始、②活動内容:万引ゼロの日、調書作成時間↓、③探取→PDSサイクル	①市川警察署ご協力↑→商品ロス減少→警察署へ感謝報恩 ②ご相談:精神科の通院証保有や認知症偽装の万引対策	警察署 防犯課
11「 <u>「ガーデニングシティ」市川活動を駅周辺に展開</u> 」 駅広改修記念樹の育成とガーデニングシティ活動への協働	①駅広緑の強化、②記念樹;市川 RC 寄贈コマヤキ立枯れ→ ③みどり管理課:植替え実施、④ガーデニング課との協働模索	①RC 記念樹・記念碑・時計:駅広魅力↑②駅広南北が「ゲート」 3/10月開始→問題→③3月当会が全面請負ボランティア募集	ガーデニング みどり管理
12「 <u>南口への当会活動の拡大→連携の輪の拡大</u> 」 協定書に基づき市川駅南口管理組合との協働関係を追求	①北口官民協働社会実験有地不法駐輪排除を南口適用 ②管理業務見直し→資産価値・街魅力↑③当会/教訓適用	①12年ルール適用→違反自転車↑→TTW施設組合費↑②業務改善専門委員会+コンサル↑③南駅広ガーデニング進出→連携↑	自転車対 策課+他
13「 <u>地域防犯カメラ増強→犯罪が割に合わない街づくり</u> 」 移動式を含め地域防犯カメラ寄贈・新設で街の安全性向上	①防犯カメラ多数設置の駅周辺は犯罪発生が少ない実績有り ②地域間競争に負けない為に地域防犯カメラ増強活動を継続	①移動式防犯カメラ寄贈、②市長・署長・県警本部長;感謝状③コ ブみらい地域かがやき賞 2/23 受賞④バスラッピング:防犯宣伝	防犯課 警察署

「参画組織」①町内会・自治会長有志、②駅周辺商店会長、③駅周辺大型店・有力企業、④商工会議所・社会福祉協議会、⑤バス会社、⑥タクシー協会、⑦地元大学、⑧警察署、⑨市役所有志